

【4-10 SR レポートのまとめ】

CQ8 標準治療が終了した乳癌患者が自然妊娠することは推奨されるか？

5 件のコホート研究から、

- ・乳癌無病生存期間 (DFI)
- ・乳癌生存期間 (OS)
- ・エストロゲン値の上昇
- ・児の奇形発症率、の 4 つのアウトカムについて検討した。

益: 標準治療が終了した乳癌患者が自然妊娠することで乳癌無病生存期間 (DFI) と乳癌生存期間 (OS) に関しては妊娠をしていなかった群と差がないとする報告があった。

害: エストロゲンの上昇に関しては文献がなく、評価できなかった。

児の奇形発症率に関しては癌治療後の妊娠で上昇するとの報告と、同等であるとの報告がある。しかし、いずれも中絶に関する情報がなく、治療・ケアの詳細も不明であることから、奇形発症率が明らかに上昇するとは言えない。